



「わたしの町の憲法カフェ ～暮らしのなかで考える～」



日時： 2017年7月8日（土） 午前10：00～11：30
（開場9：45～）

場所： 徳島児童ホーム 多目的ホール「風」
徳島市川内町大松837-1

講師： あいば かずひこ 饗場 和彦（徳島大学総合科学部教授）

参加費： 500円（資料、お茶とお菓子付き）
※参加申し込み不要



※駐車場あります。

あいば先生に 聞いてみよう

～わたしたちの生活に、憲法って、
どう関わっているの？

～憲法が変わると、
わたしたちの生活も変わっちゃうの？

わからないことや
聞いてみたいこと、
お茶を飲みながら、
一緒にお話してみませんか？

主催： 公益財団法人 日本キリスト教婦人矯風会
ホームページ <http://kyofukai.jp/>

お問い合わせ： 矯風会グループ徳島
090-5141-3766
mail: sat3_11@yahoo.co.jp

日本キリスト教婦人矯風会とは・・・
131年の日本で最も長い歴史をもつ全国組織の女性
団体です。キリスト教精神に基づいて、女性の視点
に立ち、すべての人々の人権と平和が守られるよう
、困難な状況にある人々特に女性と子どもへの支援
につとめ、社会全般の福祉の増進に寄与することを
目指しています。
グループ徳島は、関連施設の出来島保育園、前川
乳児保育園、児童ホームの運営に関わっています。



中国の台頭や北朝鮮のミサイル・核、ISのテロなどを不安に思う人は多いのですが、 実際どれくらいの脅威なんでしょう？ こうした脅威に対抗しようとして、安保法制ができました。しかし、これは有効なのでしょう？

実は、安保法制や自民党の改憲案は憲法の本質を損ねてしまう内容があります。憲法が本来の意味をなくしてしまうと私たちはどれくらい恐ろしい社会に暮らすことになるかと、考えます。（饗場和彦）

講師紹介

饗場 和彦（あいば・かずひこ）

1960年滋賀県生まれ。早稲田大学法学部卒。英・ブラッドフォード大学大学院、大阪大学大学院修了。博士（国際公共政策）。読売新聞記者を経て、2000年から徳島大学総合科学部教員。専門は政治学、国際安全保障、ジャーナリズム。“温泉教授”とも揶揄されるが、社会にもう少し改善の兆しが出るまで、趣味の秘湯めぐりは封印中。

今、私たちは、平和の中に暮らしていますよね！？
これからも私たちの暮らしや子どもたちの未来も安心できる世の中であってほしいと思うけど、今まで憲法って、考えたことなかったわ。
憲法のことよくわからないけど、もっと知りたいと思いました。自分の生活のこととして一緒に考えてみませんか？
佐藤博子（矯風会四国部会長）